

2022

1

January

DMO NAGASAKI
MONTHLY REPORT

一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会
マンスリーレポート 2022年1月版

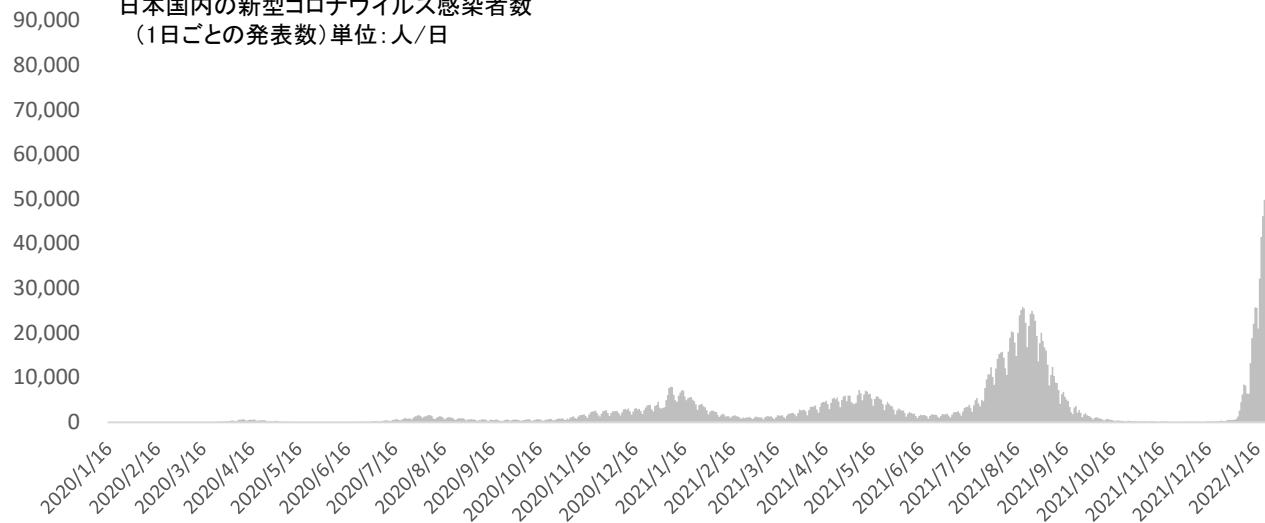
DMO NAGASAKI マンスリーレポートとは

昨年以来、新型コロナウイルスの感染拡大により、長崎市の観光を取り巻く環境は大きな影響を受けております。

外出や移動の制限により交流人口は大幅に減少し、先行きが見通しにくい状況下において、私たちDMO NAGASAKI（長崎国際観光コンベンション協会）では、観光市場環境の各種調査を進め、コロナ禍からの回復に向けた準備や次の施策実施に向けて取り組んでいます。

DMO NAGASAKI マンスリーレポートとは、各種事業の評価や今後の戦略立案のための基礎データとして、月別での長崎市への訪問客の状況や、DMOの実施事業から分かったこと、さらには旬なトピックなどをとりまとめたものです。

日本国内の新型コロナウイルス感染者数
(1日ごとの発表数)単位:人/日



Section1（毎月共通）

移動情報データからみた長崎市観光動態

- 延べ訪問客数(県外) 3
- 日別訪問客数(県外) 5
- 主要観光スポット・エリア動態(県内外) 6

Section2（毎月共通）

検索行動データからみた長崎への関心度分析

- 検索ボリューム推移 8
- 1月検索ボリューム 9

Section3（月替わり）

マンスリー・トピック

- コロナ禍の修学旅行動向 10



SUMMARY

2022

1

January

昨年10月から順調に回復してきた訪問客数は、オミクロン株の急速拡大に伴い、減速(対前月比▲15%)。また、帰省シーズン特有の検索数の減少もみられた。

- 2022年1月の訪問客数は、昨年10月から続く回復傾向に加え、年明けまでは新規感染者数が比較的落ち着いていた状況から、正月三が日は多くの帰省客で賑わいをみせたが、オミクロン株の急速拡大に伴う伸び悩みの影響で、前月(12月)に比べ15%の減少となった。
- 1月21日からは「まん延防止等重点措置」の適用により、観光施設は閉鎖措置。
- ただし、緊急事態宣言期間中であった前年同月と比べると45%増、特に関東や関西からの訪問者数は200%前後増加している状況。
- 検索数に関しては、オミクロン株の拡大に加え、他都市同様に帰省シーズンに伴う特有の検索数減少が見られ、前月比▲23%。一方、前年同月比では+135%と、観光への関心は継続していると考えられる。

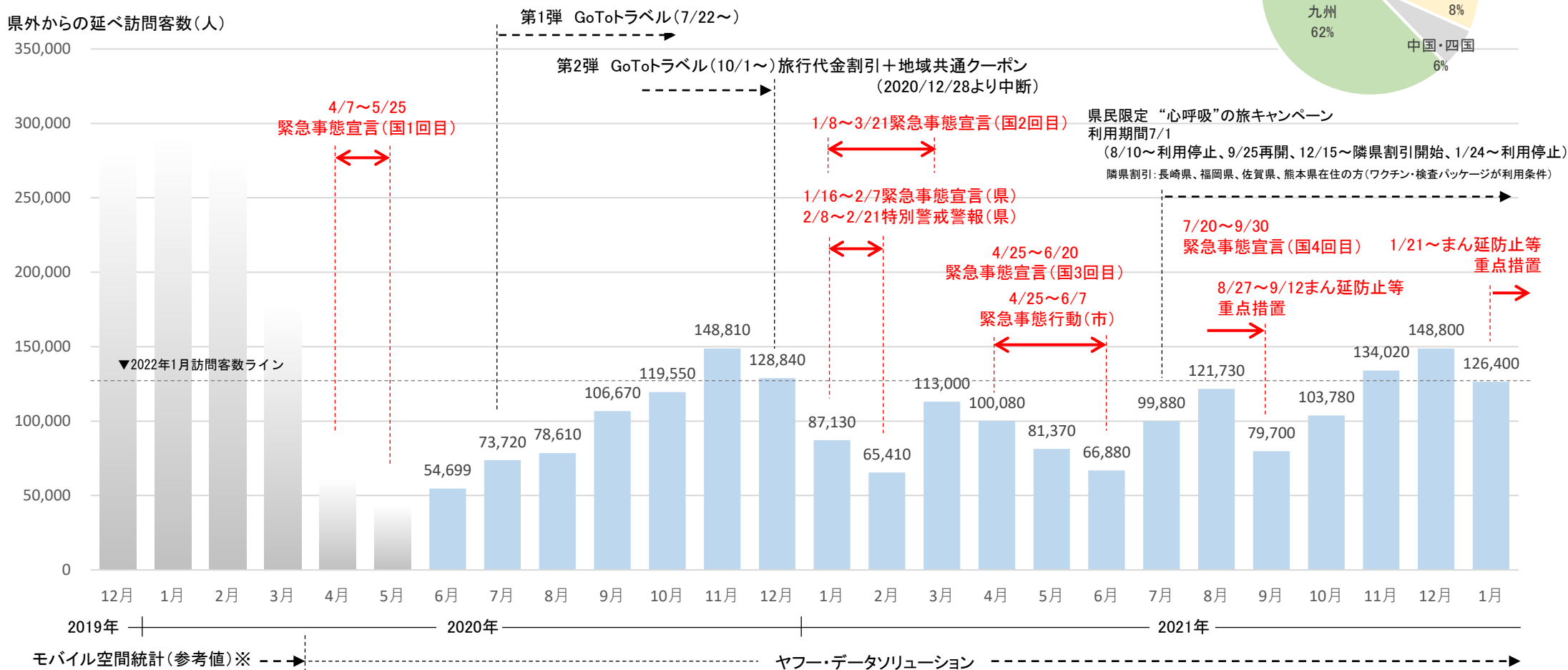
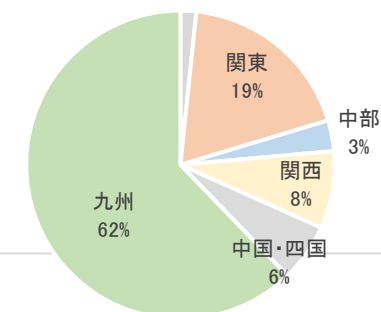


移動情報データからみた長崎市観光動態

(1) 延べ訪問客数(県外)

- 地域別では、前月と比べると関東など大都市圏で2桁の減少となったが、九州では▲7%、福岡県も▲4%と近郊エリアでは比較的变化が少ない結果となった。

(1月地域別延べ訪問客数構成比)

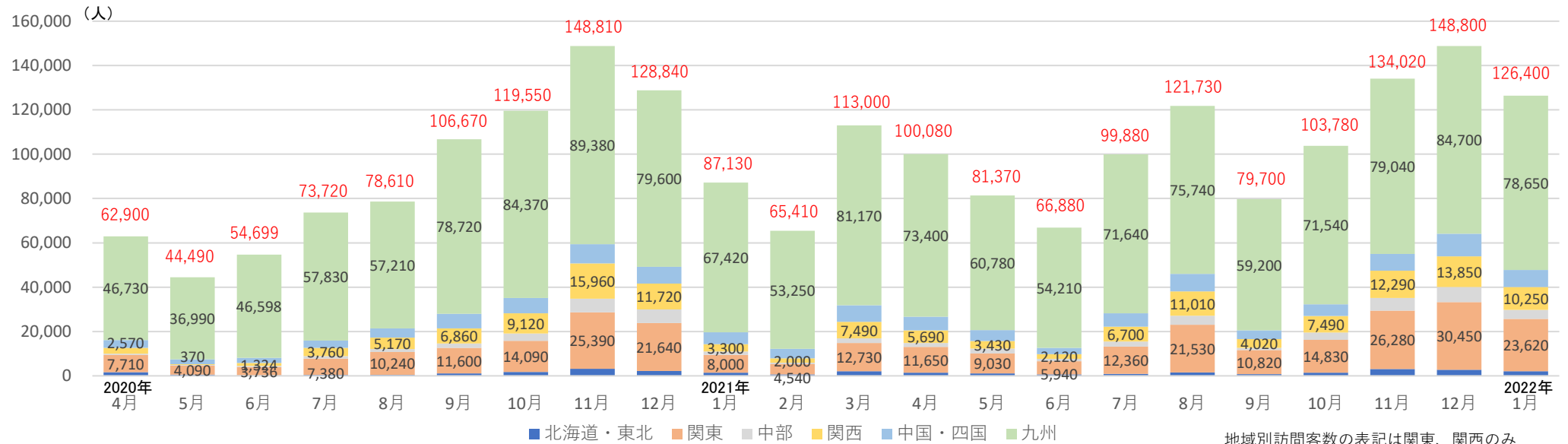


地域別延べ訪問客数 増減率

	前月比 (2021年12月比)		前年同月比 (2021年1月比)		(参考値) 前々年同月比※ (2020年1月比)	
	増減率	方向	増減率	方向	増減率	方向
北海道・東北	-24%	↓	45%	↗	-75%	↓
関東	-22%	↓	195%	↑	-71%	↓
中部	-41%	↓	158%	↑	-81%	↓
関西	-26%	↓	211%	↑	-74%	↓
中国・四国	-24%	↓	43%	↗	-66%	↓
九州(長崎県除く)	-7%	↓	17%	↗	-36%	↓
(東京都)	-15%	↓	149%	↑	-68%	↓
(福岡県)	-4%	↓	19%	↗	-39%	↓
県外合計	-15%	↓	45%	↗	-57%	↓

「↑」+50%以上
 「↗」+1%~+49%
 「↓」0~▲49%
 「↘」▲50%以下

地域別延べ訪問客数



地域別訪問客数の表記は関東、関西のみ



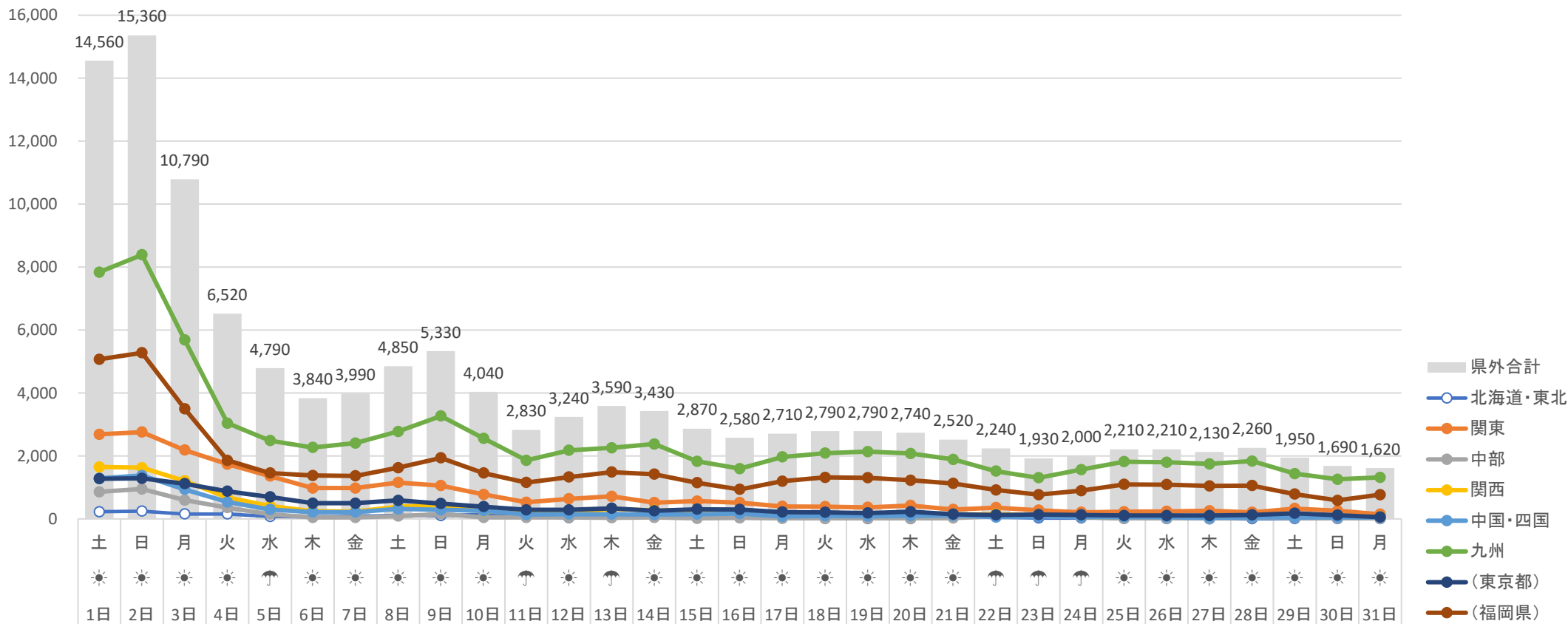
(2) 日別訪問客数(県外)

- 2022年1月の日平均訪問客数は4,077人/日と、12月に比べ15%減少。
- 3が日を除く土日祝の平均訪問客数は3,053人/日と、31%減少となり、平日同様の落ち込み。

県外からの訪問客数

	2021年12月	2022年1月	増減率
平均	4,800人/日	4,077人/日	▲15%
平日	4,930人/日	3,450人/日	▲30%
土日祝	4,425人/日	5,218人/日	+18%

県外からの訪問客数(人)








出典)ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT/気象庁



(3) 主要観光スポット・エリア動態(県内外)

全体的に前月に比べ減少傾向がみられたものの、前年同月比では大幅増加のスポットも。

- 12月に減少する地域が目立ったものの、緊急事態宣言期間中であった前年同月に比べると全体的に増加の傾向が見られた。
- 特に、昨年10月末に恐竜博物館が開業した南長崎地域では、比較スポット・エリアで唯一、先月比・前年同月比とも増加。前年同月比では112%の大幅増加となるなど、開業効果が継続していることがうかがえる結果となった。

		前年同月比(2021年1月比)	先月比(2021年12月比)
グラバー園界隈		34% ↗	-32% ↘
出島界隈		21% ↗	-34% ↘
平和公園界隈		-1% ↘	-24% ↘
浜町界隈		30% ↗	-28% ↘
稲佐山展望台		68% ↑	-34% ↘

「↑」50%以上 「↗」1%~49% 「↘」0~▲49% 「↓」▲50%以下

出典)ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT



設定範囲はグラバー園は園中心部から半径300m、出島は半径100m、平和公園界隈は125mメッシュで関連施設が立地する範囲、浜町界隈はハマクロス付近から半径400m程度、稲佐山界隈は展望台から半径100m程度とした。

		前年同月比 (2021年1月比)	先月比 (2021年12月比)
長崎駅西口周辺		17% ↗	-26% ↘
茂木		10% ↗	-4% ↘
東長崎		0% —	-11% ↘
伊王島		81% ↑	-20% ↘
南長崎 (野母崎)		112% ↑	22% ↗
外海		-7% ↘	-2% ↘
琴海		12% ↗	-8% ↘

「↑」50%以上 「↗」1%~49% 「↘」0~▲49% 「↓」▲50%以下

出典)ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT

計測範囲は各地域の主要観光エリア・スポットが含まれる範囲とし、東長崎は半径2000m、琴海は半径4000m、伊王島は半径1900m、外海は半径3500m、南長崎は半径4000m、茂木は半径2000mとした。



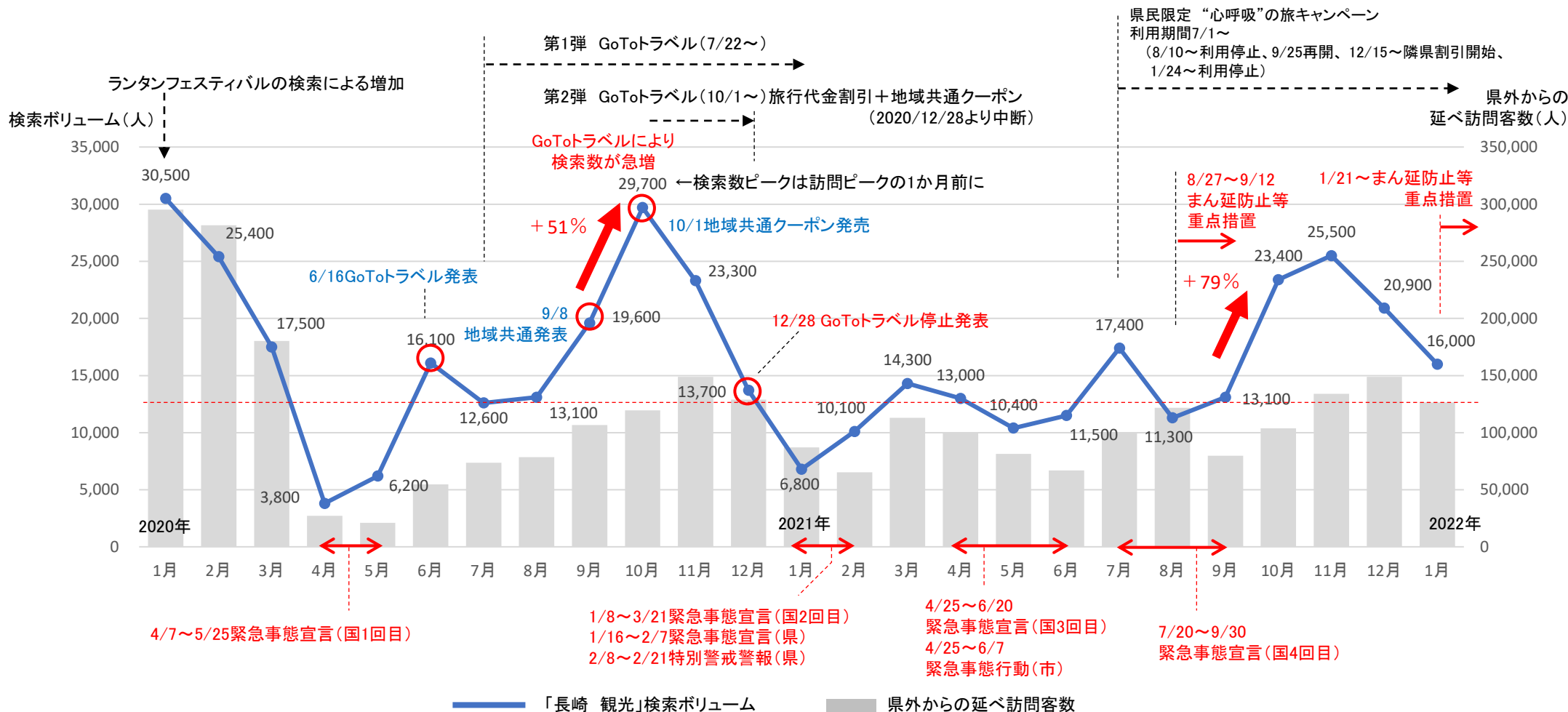
検索行動データからみた長崎への関心度分析

(1) 検索ボリューム推移

「長崎 観光」の月間検索数

先月比(2021年12月)	▲23.4% ↓
前年比(2021年1月)	+135.3% ↑

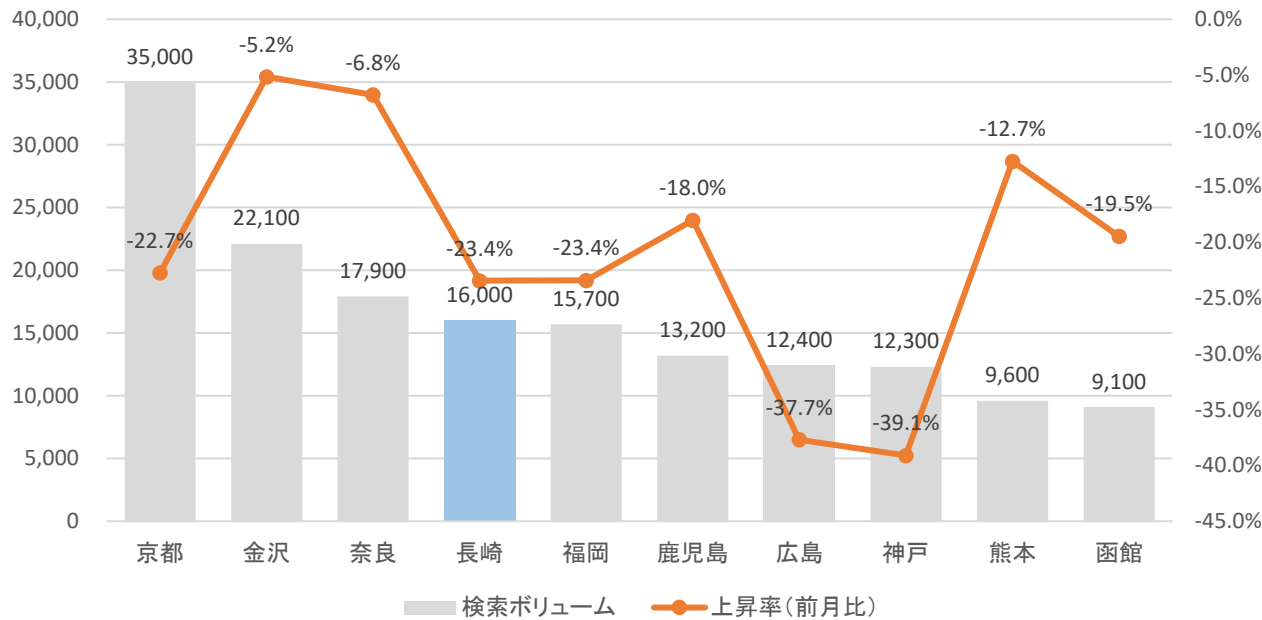
他都市同様に帰省シーズン明け特有の検索数の減少がみられ、
前月比▲23.4%



(2) 1月検索ボリューム

「(都市名) 観光」の月間検索数[比較対象都市別]

検索ボリューム(人)・上昇率(対12月)



「長崎 観光」を検索した人の居住地(都道府県別)

検索ボリューム(人)・特化係数※

特化係数1.0以上 特化係数=1月検索ボリュームの都道府県別構成比/人口構成比。1以上は人口に対し検索ボリュームが多いことを示す。

順位	都道府県	2022年 1月	(12月)	前月 増加率	対人口 特化係数
1	東京都	2,100	2,500	-16.0%	1.6
2	大阪府	1,400	1,600	-12.5%	1.7
3	福岡県	860	1,200	-28.3%	1.8
4	愛知県	850	1,100	-22.7%	1.2
5	神奈川県	770	890	-13.5%	0.9
6	埼玉県	700	840	-16.7%	1.0
7	兵庫県	490	580	-15.5%	1.0
8	千葉県	460	580	-20.7%	0.8
9	長崎県	420	600	-30.0%	3.5
10	北海道	390	460	-15.2%	0.8
11	京都府	250	270	-7.4%	1.1
12	静岡県	230	360	-36.1%	0.7
13	長野県	200	240	-16.7%	1.1
14	広島県	170	250	-32.0%	0.7
15	茨城県	160	190	-15.8%	0.6
16	岐阜県	140	180	-22.2%	0.8
17	宮城県	130	130	0.0%	0.6
18	滋賀県	120	160	-25.0%	0.9
19	熊本県	120	210	-42.9%	0.8
20	三重県	110	160	-31.3%	0.7

- 「長崎 観光」検索者を都道府県別で見るとほぼ全ての都道府県で減少となった。
- 上位はこれまで同様、東京都、大阪府、福岡県、愛知県などの大都市圏となった。

マンスリー・トピック(今月の注目データ)

1月のトピック!

コロナ禍での修学旅行は

?

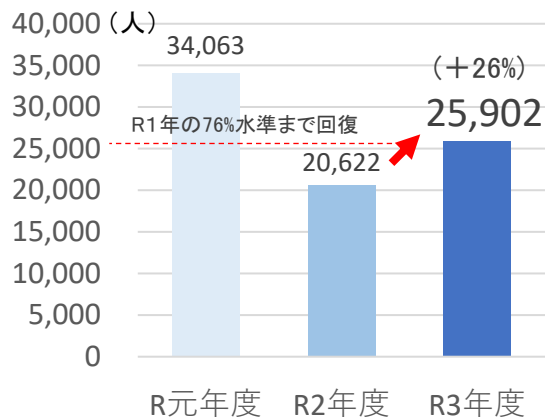
DMO NAGASAKI

コロナ禍での「修学旅行」の動向は？

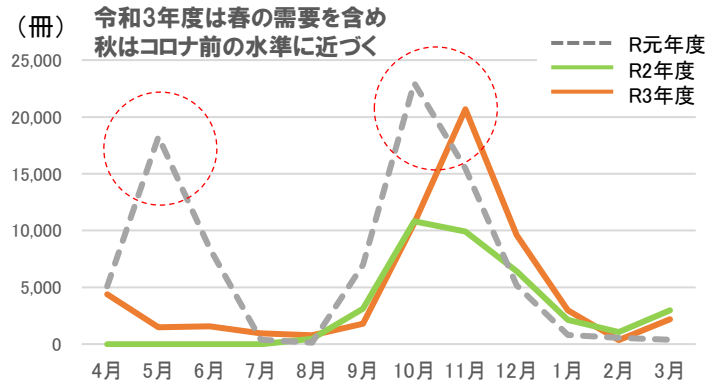
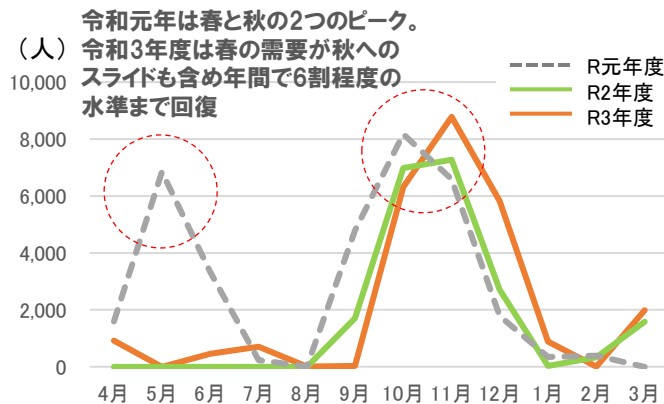
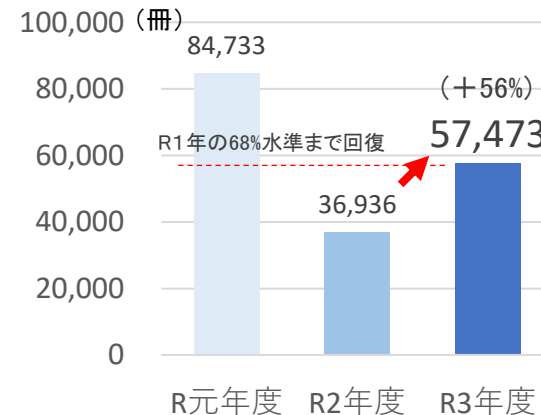
DMO NAGASAKIでは、修学旅行の誘致強化や満足度向上のための取組みを推進しています。修学旅行も一般観光と同様に、コロナの影響を受け令和2年度から減少していますが、令和3年度は、秋にかけてコロナ前に近い水準まで回復するなど増加の兆しも見られます。1月号のマンスリートピックでは、DMO NAGASAKIが取り組む平和ガイド案内人数と遊学券販売冊数の動向をご紹介します。皆さんも修学旅行の動向に注目してください！



平和ガイド案内人数



長崎遊学券販売冊数



※令和4年2月8日現在。令和4年度2月以降は予約人数



区分		取得データ・分析方法		データ取得時期・過去データ
データ仕様	株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計」	〔国内〕月別・性別年代・居住地(都道府県)別での国内旅行者数及び宿泊者数(ともに実数)、平均滞在日数など 〔海外〕国別旅行者数及び宿泊者数(ともに実数)、平均滞在日数など		・N年の暦年データ(1月～12月)はN+1年の3月頃 ・過去データは2017年1月より取得可能
		検索データ	居住地(都道府県)別、性別、年代別の検索数(時系)、検索ワードなど	・1日前のデータ取得が可能 ・過去データは2019年8月より取得可能
	ヤフー・データソリューション DS.INSIGHT	行動データ	住民や市外からの訪問客の性別・年代別人口、来訪元ランキングなど	・2日前のデータ取得が可能 ・過去データは2019年10月より取得可能
推計方法	観光動態分析	延べ訪問客数		〔～2021年3月〕 モバイル空間統計の旅行者数に平均滞在日数を乗じ算出 〔2021年4月～〕 ヤフー・データソリューション DS.INSIGHTの居住地(都道府県)別・日別訪問客数より算出
		日別延べ訪問客数(県外)		ヤフー・データソリューション DS.INSIGHTの居住地(都道府県)別・日別訪問客数より算出。日データの積み上げによる延べ人数として算出
		主要観光スポット・エリア動態(県内外)		ヤフー・データソリューション DS.INSIGHTの月別人口の訪問者数(県内含む)より算出
	関心度分析	検索ボリューム推移		ヤフー・データソリューション DS.INSIGHTの検索ボリュームより算出。検索ワードは「長崎 観光」
		月別検索ボリューム		ヤフー・データソリューション DS.INSIGHTの検索ボリュームより算出。検索ワードは「長崎 観光」 上昇率は前月との増減率より算出

